



学校だより

6月
第3号

学校教育目標

- 心も体もたくましい子
- ◎進んで考えくふうする子
- いつも仲よく助け合う子

令和4年6月1日 発行
小金井市立小金井第一小学校
校長 浅野 正道

日本の水泳教育

副校長 朝井 貴世

5月30日(月)に鶴原移動教室に出発した5年生が、本日帰ってきます。「自然と産業と伝統、自立と自律と自率を紡ぐ旅」をテーマに、様々な取り組みを準備し、充実した体験を重ねていることと思います。帰ってくる5年生の元気な顔を見ること、さらに、その成長振りを今後の生活で実感することが楽しみです。

さて、来週6日(月)より、水泳特別時程が始まります。今年度は、2年ぶりに通常どおりの期間で水泳指導を実施することができそうです。屋上のプールに、子供たちの歓声が広がる様子が楽しみです。ところで、日本ではほとんどの学校にプールがあり、当たり前のように水泳の授業が行われていますが、アメリカや韓国、中国などの国々では、小学校や中学校にプールがなく、水泳の授業もない学校が多いのだそうです。では、なぜ、日本の学校では水泳の学習をするようになったのか、調べてみました。

★江戸時代から水練(水泳)の授業があった。

四方を海に囲まれた島国である日本では、江戸時代から水泳の教練(水練)があったといわれています。最初に水練場をつくったのは、会津藩(現在の福島県)の藩校・日新館と長州藩(現在の山口県)の藩校・明倫館といわれ、武士の大事なたしなみとして、剣術や学問だけでなく、水泳も教えていたそうです。そして、水練は、海ばかりではなく河川も多い日本ならではの重要な教育として、受け継がれることとなりました。

★水泳ニッポンの礎

古橋 廣之進は、「フジヤマのトビウオ」と称賛された世界的な水泳選手です。このスイマーがいたからこそ、日本は敗戦のどん底から這い上がることができたといえます。左手中指の第一関節から先を失う事故にあい、戦後の食糧難にもめげずサツマイモを食べながら、人一倍の練習量と工夫で、世界記録を次々と出したという伝説的な選手です。1947年の日本選手権400メートル自由形で世界記録を上回り、本来なら翌年のロンドン五輪代表でしたが、戦争責任から日本は参加が認められませんでした。1949年、日本はようやく国際水泳連盟への復帰が認められ、古橋選手は全米選手権に招待されました。3種目で世界新記録の優勝を飾り、地元新聞からは、彼の生涯のニックネームとなる見出し「The Flying Fish of Fujiyama」(フジヤマのトビウオ)で讃えられ、その後続く水泳強国ニッポンの礎となりました。

★相次ぐ水難事故～水泳教育の重要性を再認識。

こうした中、1955年に相次いだ小・中学生の集団水難事故が、水泳教育の必要性を後押ししたといわれています。全国の小・中学校ではプール設置が急ピッチに進み、1958年の学習指導要領には、水泳を授業で行うことが明記されました。そして、現在、世界的にもとても恵まれた、プール付きの学校が常識となったということです。当たり前と思っていた水泳の学習が、日本独自のとても特色のある教育であることを認識し、改めて日本の強み、魅力を誇らしく思いました。

今年度の水泳指導も、新型コロナウイルス感染症感染予防対策を十分にとりながら、安全に楽しく取り組み、泳力が向上するように進めてまいります。

マスクの着用について

小金井市立小・中学校では、マスクを正しく着用することを新型コロナウイルス感染予防の基本行動の一つとしています。しかしながら、アレルギーや肌の敏感さなど心身の状態等の理由によりマスクを着用できない児童・生徒もいます。事情によりマスクを着用することができないお子さんがいることをご理解いただき、マスク未着用の児童・生徒が差別や偏見を受け、悲しい思いをすることがないように、ご家庭でもお話いただければ幸いです。

なお、お子さんが心身の状態等によりマスクの着用が困難な場合は、過ごし方について一緒に考えてまいりますので、学校までご相談いただきますようお願いいたします。

水泳指導について

6月6日(月)より水泳指導が始まります。新型コロナウイルス感染症感染予防策を講じてまいります。詳細につきましては、「水泳指導のお知らせ」をご確認ください。

授業公開中止のお知らせ

各学年の保護者会に合わせて5校時に予定していましたが授業公開ですが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、中止といたします。9月17日(土)には、参観時間を分散させた形での、公開を予定していますので、ご理解とご協力をお願いします。

保護者会

1学期末の保護者会を以下のとおり実施します。ぜひ、ご参会ください。

日時：1、2年、梅の実 6月27日(月)
3、4年 6月28日(火)
5、6年 6月30日(木)
全日 14:45～15:15

会場：各教室

校外生活地区班下校について

日時：6月22日(水) 13:20～

6月22日(水)、災害(警報の発令)や不審者情報等があった場合を想定し、緊急時の集団下校訓練のための「校外生活地区班下校」を実施いたします。本校では、4色の地区班をつくっています。自分が住んでいる地域の児童同士、お互いの顔と名前を知ることや、地域の危険な場所等を共通認識することがねらいです。

当日は、4つの地区に分かれて下校します。ボランティアでご協力いただく保護者の方のお力もお借りし、安全に集団下校できるよう進めていきます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況を見て、変更がある場合は、再度お知らせいたします。ご承知おきください。

1年生 初めての遠足

5月10日(火)に、野川公園に行きました。

自然の中で楽しく遊び、安全に気を付けることをめあてに、一日楽しく安全に活動をしていました。

午前中は、各グループで、くじら山に登ったり、花や葉、木の実などを集めたりしました。昼食は、各グループでお弁当を食べて、午後は、学年でボール運びや、猛獣狩りを楽しみました。

学校から野川公園に行くまでの道のりも、安全に気を付けながら歩きました。たくさんの友達ができ、楽しい一日となったようです。



6月 学校行事予定表

日	曜	学校行事・児童活動等
1	水	5年海の移動教室終 安全指導・安全点検 内科検診
2	木	全学年4時間 運動器検診
3	金	委員会③
4	土	
5	日	
6	月	水泳指導特別時程始 教育実習始
7	火	スポーツテスト校庭種目予備日
8	水	全学年4時間授業
9	木	梅の実校外学習 スポーツテスト欠席者測定
10	金	クラブ④
11	土	
12	日	
13	月	いきいきキッズチャレンジ週間始 教育実習始
14	火	アフタースクール 交通安全教室(全学年)
15	水	
16	木	全学年4時間授業 研究授業(6年1組 5h)
17	金	いきいきキッズチャレンジ週間終 みどりの読書週間終
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	小中交流会 全学年5時間授業
22	水	避難訓練(校外生活地区班下校)
23	木	なかよし班活動
24	金	クラブ⑤ 体力調査終
25	土	
26	日	
27	月	1,2年梅保護者会(5時間目 授業公開中止)
28	火	3,4年保護者会(5時間目 授業公開中止)
29	水	指導室訪問
30	木	5,6年保護者会(5時間目 授業公開中止) 定期健康診断終

リモート授業について

新型コロナウイルス感染症等により、長期間欠席を要する児童は、リモートで授業に参加することができます。実施方法や実施可能な教科等は、学年によっても異なりますので、担任にご連絡ください。